

令和4年7月吉日

放射線治療部門責任者 殿

放射線治療担当者 殿

厚生労働科学研究費助成事業
「放射線療法の提供体制構築に資する研究」

研究代表者 大西 洋

分担研究班 齋藤 正英

**厚生労働省科学研究費助成事業「放射線療法の提供体制構築に資する研究」(大西班)
遠隔放射線治療計画の利用に関する実態調査アンケートに関するご協力依頼について**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、「遠隔放射線治療計画の利用に関する実態調査アンケート」を行う運びとなり、ご協力をお願いさせて頂く次第です。

この調査は、厚生労働科学研究費補助金の支援を受け、「放射線療法の提供体制構築に資する研究 [研究代表者：大西洋(山梨大学)]」の分担研究 [分担研究者：齋藤 正英(山梨大学)] として行われます。

本研究班では、近年需要が高まっている遠隔放射線治療計画の利用について、我が国における実態を明らかにし、今後の遠隔放射線治療計画のあり方を提言するための活動を実施しております。つきましては、遠隔放射線治療計画の利用に関する実態調査アンケートへの回答にご協力を賜りたくお願い申し上げます。なお、遠隔放射線治療計画をご利用していないご施設におかれましてもぜひご回答いただけますよう、お願い申し上げます。

本アンケートにつきましては、1施設につき1回答とさせていただきます。また、アンケート結果につきましては、施設名非公表の上、今後の我国の放射線治療のあり方を提言する基礎資料として有効に活用させていただき、可能な範囲で関連学会や雑誌等でも公表させていただきたいと存じます。

ご多用の中、大変恐縮でございますが、何卒よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- ・ 対象：全国の放射線治療部門の責任者（1施設につき1回答としてください）
- ・ 回答形式：Google フォームによるアンケート

- ・ 内容：遠隔放射線治療計画に関する利用実態や需要に関する質問（回答に要する時間：遠隔放射線治療計画を利用している施設:15分～20分程度、遠隔放射線治療計画を利用していない施設：10分程度）
- ・ 収集した情報の取り扱いについて：本アンケートは現在の我が国における遠隔放射線治療計画の実態を把握、分析することを目的としており、収集した情報をこの目的以外に用いることは決してありません。ただし解析した一部の結果については関連学会での報告等、公益に資する目的に限り利用させていただくことがございます。

以上